茨大×東北～✿Fleur✿～プロジェクト

ボランティア

代表者：教育学部教育基礎学科　４年　滑川裕乃

連携先

主に東北に住む被災地域の人たちとの連携

顧問教授

三輪五十二教授（特命教授）

参加者

滑　川　裕　乃	教育学部・教育基礎学科４年
番　場　有　彩	人文学部・人文コミュニケーション学科４年
白　土　加奈子	人文学部・人文コミュニケーション学科３年
両　角　智　則	人文学部・人文コミュニケーション学科２年
福　島　想　人	工学部・機械工学科２年
保　母　真　史	人文学部・社会科学科２年
木　村　　亮	工学部・機械工学科２年
高　橋　　諒	人文学部・社会科学科２年
石　川　航　平	人文学部・社会科学科２年
清　水　麻　美	人文学部・社会科学科２年
吉　田　有　希	人文学部・社会科学科２年
飯　田　大　貴	工学部・機械工学科２年
高　橋　健　大	工学部・メディア通信工学科１年
サイ・センジョ	人文学部大学院１年

プロジェクトの申請内容

ボランティア活動を単発で終わらせず、風化させないために継続して活動を行うことが目的である。今までのボランティア活動だけではなく、被災地の方との交流など人と人との交流を増やし、茨城大学として自分たち学生にできることを継続して行うため。

プロジェクトの実施概要

■８月31日　福島県南相馬市でボランティア活動

・これまで立ち入ることが出来なかったが今回初めて南相馬市で活動。(放射線など現地の正しい情報を得てから活動を行った)

■９月17日・18日（１泊２日）ボランティア活動36名の茨大生が参加

・１日目＝福島県南相馬市の視察

・６月９日に行った千年希望の丘植樹祭の会場を

・ゆりあげ地区

・語り部さんのお話

・ワールドカフェ（ワークショップ）

→テーマ「ボランティアで活かせる茨城大学の強みとは？」

・２日目＝野蒜海岸の清掃（東松島市）

■10月飯舘村へ視察

■10月24日　学生交流会の開催

・生協グリルにて学生交流会の開催

→ボランティアに関心のある学生同士の交流の場を設ける

・今までボランティアに参加したことがある学生だけではなく、興味がある学生にも呼びかけ、交流し話し合いの場を設けた。

■11月茨苑祭
・県立医療大学など他大学との交流
・がれキーホルダーの販売→売り上げの一部が作成した陸前高田の人たちのもとへ
・写真展

■12月21日　28名の学生とともに宮城県東松島市へ
・アーモンドの苗木を寒さから守るため藁を使って防寒・防雪対策
花言葉は「希望」、10年以上前の被災地である阪神から送られてきたものである。
・２ヶ月ぶりに被災地を訪れ、復興が着々と進んでいることを実感

■１月26日　「ふくしま再生への道―放射線とたたかう人たち―講演会」

プロジェクトの実施概要

■９月１泊２日のボランティア活動
・福島県南相馬市へ視察
・東松島市でのボランティア活動の継続

■10月飯舘村へ視察
・現地の生の情報を得ることが出来た。実際に訪れたことで、今後の活動の課題が見えた。
・現地の人との交流が持て、学生に来てほしいとの依頼も受けた→往復10時間以上かかり、また山道が狭いことなどから学生を連れてバスで行くことは困難と判断。しかし、TwitterやFacebookで活動を報告し、多くの人に興味を持ってもらうことが出来た。

■11月茨苑祭の成果
・県立医療大学など他大学との交流。
・がれキーホルダーの販売→売り上げの一部が作成した陸前高田の人たちのもとへ
・写真展→約300枚の写真を展示し、また大きいパネルを用いて写真を展示。学生の活動風景などリアルに被災地の様子を伝えることが出来た。震災に関心のある人だけではなく、文化祭に訪れた多くの人に知ってもらうことが出来た。
・地域の人たちに現地の様子とともに、私たちの活動について知ってもらうことが出来た。

■12月ボランティアに関心のある学生交流の場を設ける
・今までボランティアに参加したことがある学生だけではなく、興味がある学生にも呼びかけ、交流し話し合いの場を設けた。
・自分たちにできることなど話し合い、またFleurメンバーを増やすこともできた。

■１月ふくしま再生への道―放射線とたたかう人たち―講演会
・茨城大学の生徒、農学部との協力、また他大学の教員、一般の方たちの集客に成功
→多くの人たちと交流が持て、意見交換が出来た。
・茨城新聞に掲載
・風化させないことにつながった

■ボランティアに関心のあるメンバーの増加
・プロジェクト開始当初は中心メンバーが８人だったが、現在は15名に増加。また、２年生メンバーの増加により今後の継続性の期待
・Fleurのボランティアバスに参加した学生の延べ人数は320人超。いかに影響が大きいか、また学生の関心がどれくらいあるかが把握できた。

■被災地とともに学校の花壇にも花植えを行う
・正門入って直ぐにチューリップの球根を植える（H25.12月）→花いっぱいプロジェクトの実行、花を通して来年につなげる。